

## 2学期始業式 校長先生の話

お話をします。今日こうして、元気な皆さんに会えて、とてもうれしいです。

1学期の終業式の時、校長先生から「夏休みだからこそ、チャレンジしよう」という話をしました。皆さんが夏休みにチャレンジしたことをぜひ、友達やクラスのみんなに紹介してください。

校長先生が夏休みにチャレンジしたことを紹介します。それは、「スッポン」です。

6月、運動場にスッポンがやってきて、卵を産みました。そのうちの1個から、何と、スッポンの赤ちゃんが産まれました。8月11日のことでした。校長先生は、生き物を卵から育てることは初めてです。2学期にみんなにスッポンの赤ちゃんを見てもらうまで、しっかり育てなければと思いました。

1番困ったことは、エサを食べないことでした。エサをいろいろ変えてみましたが、食べません。1週間がたちました。エサをピンセットでつまんで、スッポンの口元にしばらく置き続けました。すると、「パクッ。」ようやく食べてくれました。その日は1個しか食べませんでしたが、校長先生はとても安心しました。次の日の朝は2個、夕方は5個食べるようになりました。今は、食欲がとても旺盛で、一度に20個も食べる時があります。

皆さん、産まれてきたスッポンの赤ちゃん、これからどうしたらいいと思いますか。皆さんの考えをぜひ教えてください。

そして今日、もう一つお話をすることは、これです。「149」何の数字だと思いますか？これは、篠原小学校ができた年です。来年は何と、記念の150周年を迎えます。篠原小学校の始まりは、明治時代。隣の舞阪小学校から分かれて設立されました。以来、皆さんのおうちの人や近所のおじいさん、おばあさんなど、多くの人たちが通い、たくさんの思い出を作ってきた学校です。

そこで、篠原小学校の伝統や歴史を振り返って、これからも大切にしようという気持ちが高まるように、この2学期から、150周年記念の準備をしていきます。皆さんからのアイデアも募集します。「こんなことをやってみたいな」という考えを、ぜひ教えてください。

今日は、「スッポンの誕生」と、「篠原小学校の誕生149年」というお話をしました。今日から2学期のスタートです。2学期も、皆さんのたくさんのチャレンジを楽しみにしています。それから、スッポンの赤ちゃんもぜひ、見に来てくださいね。

